

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (22) JAグループ滋賀 農業経営者セミナー
JAグループ滋賀（滋賀県）

新規	継続
	○
	（平成 25 年 3 月）

1 動機 (経緯)	<p>滋賀県の農業・農村の現場を取り巻く状況は厳しさを増している中で、農業の成長産業化に向けて、農業経営者が消費者の視点を大切にし、経営マインド（経営感覚）を持って、収益向上、生産コスト削減並びに管理態勢の強化等を進めることが重要な課題となっています。</p> <p>農業経営者の経営基盤強化等、農業経営者に対する経営支援に向けたJAの取組みを支援し、農業経営者とJAグループとの関係強化を図るために本取組を平成25年3月より取り組んでいます。</p>
2 概要	<p>1. 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 農業法人（集落営農型・個別経営型）の役員等 (2) 集落営農組織の代表者・構成員等 (3) 消費者の視点を大切にし、経営マインド（経営感覚）を持って農業経営を行おうとする農業者 <p>2. テーマ：「担い手の経営発展に向けて」</p> <p>3. 講師：近畿農政局地方参事官 稲葉恭正 氏</p> <p>4. 内容：全国と滋賀県における農業経営体の現状報告とともに、目指すべき姿として、農地の集約を進め、経営の高度化を図ることの必要性を説明</p> <p>5. テーマ：「農業法人の税務上の留意点」</p> <p>6. 講師：杉本総合会計 税理士 杉本浩志 氏</p> <p>7. 内容：会社設立時に検討すべき重要な事例の一例として、資本金、従事分量配当、各種準備金の考え方について解説</p> <p>8. テーマ：「日本農耕文明の根本に立ち返ろう」</p> <p>9. 講師：インサイダー編集長 ザ・ジャーナル主幹 高野猛 氏</p> <p>10. 内容：地域農業の存続と活性化のために、過去から続く農村文化を認識し、活用していくことの重要性を説明</p>
3 成果 (効果)	<p>参加者は、約 300 名となりました。</p> <p>農業経営に役立つ情報を提供できたとともに、農業経営者とJAグループとの関係性の強化が図れました。</p>
4 今後の予定 (課題)	<p>継続的な開催と、セミナーの内容の充実を図れるよう努めます。</p>